

当面の勉強会の進め方（案）

本勉強会の目的のひとつは、超小型モビリティの意義及び普及に係る課題に関し、どのような社会的ニーズがあるかを分析し、意見交換を経て共通の認識を関係者間で共有することである。

主に都市部又は観光地で実施されてきたこれまでの実証事業から、公務・業務利用、観光利用、日常利用のいずれにおいても混合交通でも使用し得るスペックのニーズが確認され、その結果、自動車メーカーからは、車両仕様の方針として「タイプA～C」が提案された。

一方、輪島市の事例からは、交通量が少ない、狭隘な道路が多い等の特徴を有する地域においては、「タイプA～C」とは異なる低速タイプの車両の共生する可能性が示唆された。但し、停留所で止まる等「乗合」車として用いられており、個人移動用としての使用については、更に分析を進めることが必要である。

以上を踏まえ、当面、本勉強会を以下のとおり進めていくこととしたい。

- ニーズの明確化と当該ニーズに沿う車両仕様の検討に当たっては、「タイプA～C」と「低速車両」とに大別する
- 「タイプA～C」は街の特性には依らずに使用可能であることから、短期的な目標として「タイプA～C」の活用方策に係る勉強を進める
- 「低速車両」のニーズは街の特性にも深く関連することから、更なる分析が必要。「低速車両」の開発・普及は、それらの分析を踏まえた上で、場合によってはまちづくりと一体で進めていくべきであり、中期的な目標として当該分析や「低速車両」の活用方策に係る勉強を進める